

第 512 回 国立大学法人信州大学役員会 議事要録(案)

日 時 令和 2 年 11 月 18 日(水) 9 時 30 分 ~ 10 時 00 分

場 所 本部管理棟 5 階 第一会議室

出席者 濱田学長(議長), 平野, 武田, 中村, 川真田, 小宮山 各理事
オブザーバー 徳井, 渡邊, 市川, 田中, 半田, 樋口 各副学長
北原, 原 各監事

欠席者 浜野理事

第 511 回議事要録確認

報告事項

1 令和 2 年度学内予算(二次補正)執行計画(案)について

小宮山理事から, 資料 No.1 に基づき, 令和 2 年度の学内予算(二次補正)に係る執行計画(案)について説明があった。

続いて, 議長からこのことについて諮られ, 審議の結果, 令和 2 年度学内予算(二次補正)執行計画(案)について, 原案のとおり承認され, 本日開催の役員部局長会で報告する旨の発言があった。

2 経営協議会審議事項について

伊藤総務課長から, 資料 No.2 に基づき, 11 月 24 日(火)開催の第 90 回経営協議会の審議事項について説明があった。

続いて, 議長からこのことについて諮られ, 審議の結果, 経営協議会審議事項について, 原案のとおり承認された。

3 役員の退職手当に係る業績勘案率(案)について

武田理事から, 資料 No.3 に基づき, 令和 2 年 8 月 31 日付けで退任した役員の退職手当に係る業績勘案率(案)について説明があった。

続いて, 議長からこのことについて諮られ, 審議の結果, 原案のとおり, 役員の退職手当に係る業績勘案率(案)について承認された。承認後, 本件は 11 月 24 日(火)開催の経営協議会に付議し, その審議内容及び承認をもって役員会においても承認されたこととする旨の発言があった。

4 クラウドファンディングの実施について(学術研究・産学官連携推進機構)

小宮山理事, 中村理事から, 資料 No.4 に基づき, クラウドファンディングを活用した「難治性がんの子供たちを救う信州大 CAR-T 細胞研究プロジェクト」の実施について説明があった。

続いて, 議長からこのことについて諮られ, 審議の結果, 原案のとおり, 学術研究・産学官連携推進機構から申請のあったクラウドファンディングの実施について承認された。承認後, 本件は本日開催の役員部局長会で報告する旨の発言があった。

5 クラウドファンディングの実施について(教育学部)

小宮山理事, 宮崎教育学部長から, 資料 No.5 に基づき, クラウドファンディングを活用した「児童生徒の基礎演奏力を高める! 学校吹奏楽練習支援アプリの開発」プロジェクトの実施について説明があった。

続いて, 議長からこのことについて諮られ, 審議の結果, 原案のとおり, 教育学部から申請のあったクラウドファンディングの実施について承認された。承認後, 本件は本日開催の役員部局長会で報告する旨の発言があった。

- 6 信州大学におけるバイアウト制度の取扱いについて
平野理事から、資料 No.6 に基づき、「信州大学におけるバイアウト制度の取扱いについて（通知）」案について説明があった。
続いて、議長からこのことについて諮られ、審議の結果、信州大学におけるバイアウト制度の取扱いについて、原案のとおり承認され、本日開催の教育研究評議会に付議する旨の発言があった。
- 7 国立大学法人信州大学セキュリティ・インシデント・レスポンス・チーム(SUSIRT)の設置について
武田理事から、資料 No.7 に基づき、10月28日（水）に開催の第206回戦略企画会議で承認された国立大学法人信州大学セキュリティ・インシデント・レスポンス・チーム(SUSIRT)の設置について説明があった。
続いて、議長からこのことについて諮られ、徳井副学長から、同チームの設置要項内に、インシデント発生時には平常時と異なる、より強力な権限を付与する旨の条項が必要なのではないか、との指摘があり、議長から、本議題については差戻しの上検討し、12月の本会議に改めて付議する旨の発言があった。

報告事項

- 1 令和元年度監事臨時監査結果報告書の監事の意見に対する取組について
議長から、資料 No.8 に基づき、令和元年度監事臨時監査結果報告書の監事の意見に対する取組状況等について報告があった。

次回開催予定：本日の人事制度委員会終了後
以 上